

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 **新** 県立学校オンライン環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 ICT教育企画係 電話番号：058-272-1111 (内 4972)

E-mail：[c17765@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17765@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 補正要求額 27,100 千円 (現計予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	27,100	0	0	0	0	0	0	0	27,100
決定額	27,100	27,100	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ICT機器はあらゆる学習活動の基盤となることから、令和元年度に学校教室の環境整備、令和2年度に生徒のタブレットを整備し、コロナ禍においてもICT機器を活用した学習支援に取り組んでいるところ。
- アフターコロナにおいても、ICTを効果的に活用した学びや、外部と連携した双方向型の学びを更に推進していくため、学習基盤となる受信配信環境を一層整備する必要がある。

### (2) 事業内容

- ICT機器を活用した授業やオンライン授業の実施に当たり、より効果的な学習効果を生み出すために必要となる機器として、県立高等学校の普通教室・選択教室及び高等特別支援学校の普通教室に接続型スピーカーを整備する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県立高校の3密を回避する学校運営、オンライン等による学習支援の継続などについて、県負担によることが妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	27,100	スピーカー (@20 千円×1,355 台=27,100 千円) ※設置費含む
合計	27,100	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）  
今後5年間で重点的に取り組む施策②
  - ◆ あらゆる学習の基盤となる ICT 環境の整備と、ICT を活用した学習活動の充実

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 コロナ禍に対応した密を避けた学校運営や休校時学習支援、アフターコロナにおける ICT 環境を効果的に活用した学びや外部と連携した双方向型の学びを更に推進するため、今年度中に受信配信環境を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による措置

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価) ○	県教育委員会の通知において、新型コロナウイルス感染症に配慮した学習活動の実施を求めていることに鑑み、必要性が高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価) ○	各学校のニーズも踏まえ、円滑に事業が展開できるよう計画をしている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新規事業のため、適切な計画立案や予算配当等を行う必要がある。
---

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による単年度措置
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	